



八軒つうしん



巻頭言

平成二十一年度を

振り返って

会長 菅井 茂



日本経済の立ち直りが見えない中、また日本の政治も「新」になると思っ

たら、旧態依然で政治不信が増えています。このような暗い中であって我が母校八軒中学校には、平成二十一年度は明るい話題がありました。それは、吹奏楽部が第十五回日本管楽合奏コンテストで文部科学大臣賞を受賞し、柔道部が全国中学校体育大会に出場したことです。同窓会として後輩の快挙に大きなエールを送りたいと思います。

ところで、宮城県では平成二十二年高度校入試から学区制がなくなり、全県一学区と

なりました。また全ての高校が男女共学となりました。このことよってこの春卒業する中学生は、志望校を決めるのに苦労したと思います。今後揺り戻しもあり、受験地図が落ち着くには数年かかると思います。

さて、平成二十一年度の同窓会活動としては、「生徒の生活環境を考える」委員会と「私の八軒時代編纂」委員会が動き始めたことです。しかし、両委員会の趣旨や活動目的が会員の方々に十分理解されていないようで、思うようには進んでいません。それぞれの趣旨や活動目的にご理解いただき、ご協力をお願い致します。

最近いろいろな会合で同窓生にお声を掛けていただくことが多くなりました。これは、少しずつではありますが、同窓生に同窓会の存在が認識されて来つつある証ではないかと喜んでいきます。また各期の同期会やクラス会なども盛んなようです。その会を機に旧

交を温めてください。同窓会は会員皆さまのものです。会員同士又は会員と八軒中学校を結び手助けをしているのが我々役員と思っておりますので、これからも機会があれば、声をかけてください。同窓生の輪を広げていきましょう。

第二回代表幹事会

一 委員会の活動の 具体化について検討

平成二十一年七月十一日、八軒中多目的ホールにおいて、第三回代表幹事会が開催されました(平成二十一年度としては一回目ですが、次回総会までの四年間を一期として、その期間中通算でカウントすることになりました)。

菅井茂会長はじめとした同窓会役員、事務局、同窓会参与である八軒中学校の永野幸一校長先生、同窓会担当の高山先生のほか、第三回生の高橋公一さんを筆頭に六回、十回、十三回、十四回、二十八

回の各期の学年幹事にご参加いただきました。

永野校長先生からは、最近の母校の様子をご紹介いただきました。中総体での活躍の反面、生活指導面でやや心配な面も見受けられるとのことでした。

議事ではまず、菅原敏之事務局長から第二回代表幹事会以降の活動報告、遠藤恭郎會計次長から会計報告、佐々木博司監査から監査報告がありました。

次に、本郷誠副会長から「生徒の生活環境を考える」委員会の今年度活動の四つの柱について、佐藤徳子副会長から「私の八軒時代編纂」委員会の寄稿依頼、スケジュールについて、それぞれ報告と提案があり、これについて検討がなされました。

その後、各学年から活動状況を報告していただくとも、欠席の幹事の近況も紹介されました。

(一頁からの続き)

会議終了後、会場を南小泉八軒小路の「寿し靖」に移して、懇親会が行われました。

なお、会議に先立ち、武道館でのプラスバンド部の練習を見学しました。

第四回代表幹事会

最後はエールで

第四回代表幹事会は、平成二十一年十二月十二日、八軒中多目的ホールにおいて開催されました。



永野校長先生からは、学校生活における新型インフルエンザの影響や問題行動などやや心配なお話もありましたが、柔道部の全国大会出場や管楽合奏コンテスト全国大会での最優秀賞受賞という嬉しい話題も伺い、また「最優秀」の演奏(録音)をしばし鑑賞しました。

村井雅彦企画次長及び遠藤會計次長からは第三回代表幹事会以降の活動及び会計について、また、本郷、佐藤両副会長からは「生徒の生活環境を考える」委員会と「私の八軒時代編纂」委員会のそれぞれの進捗状況について報告がありました(二委員会の活動の詳細については、別掲をご覧ください)。「八軒つうしん」について、第五号の編集方針案が承認されたほか、八軒中ホームページに第一号、第二号も掲載することになりました。

議事終了後は、会場を河原町の「末広寿司」に移して、恒例の懇親会となりました。

第二十八回生で、最近仙台に活動拠点を移した俳優の大日琳

太郎(本名・針生登志雄)さんも飛び入り参加、最後は遠藤會計次長のリードによる八軒中や同窓会へのエールで締めくくりました。

「一委員会の動き

「生徒の生活環境を

考える」委員会

副会長・委員長

本郷 誠

一、生徒の生活環境面を考える

本年二月、父母教師会加藤会長・副会長、学校側より太田教頭先生、同窓会より委員会のメンバーと三者で協議しました。

父母教師会より、「我々の一番の願いは、生徒に楽しい学校生活を送って欲しい、どの子にも良い思い出をたくさんつくって欲しい、そのために保護者をはじめ同窓会の力を貸して欲しい」との話がありました。

また、「八軒中学区内の地域交流と同学区内の生徒の社会性向上を図り生徒の一人一人が安



心して中学校生活を送ることができるよう、地域住民の方々及び八軒中同窓会との連携を行う」ことを活動目的とする組織を立ち上げたい旨の提案がありました。

活動内容(案)として!

八軒中のイメージ向上の為の方策協議

在校生の社会的教育(道徳教育)のサポート

地域交流イベントの企画、開催(含、高齢者や同窓生)

等が考えられるが、三者で身近にできる交流会から始めましょうとの意見で一致しました。

次回の会議では実施可能な具

体的活動内容、組織の立上げについて協議することに決まりました。

二、地下鉄河原町周辺活性化

ワークショップに参加して

直野まり委員の報告

地下鉄、愛宕橋駅と河原町駅を中心とする三角地帯(河原町駅、奥州街道毘沙門天、愛宕橋駅、旧市電通(河原町駅))を活性化するためのワークショップが、平成二十一年七月から十二月までに八回開催され、二十人が参加しました。

会では、地元住民等との意見交換やイベントの実施について話し合われました。今回第一段階を終了し、今後、広瀬川沿いを中心に明るくするため「光」をテーマにした事業を継続的に行うこととなりました。平成二十二年三月二十八日に広瀬川河川敷でミニ運動会と鍋を囲んでのイベントを予定しています。今後委員会メンバーが継続的に参加し、地元活性化に役立てればと考えております。



「私の八軒時代」

編纂委員会

副会長・委員長

佐藤 徳子

あなたの「八軒時代」に

想いを馳せて

平成二十年十二月の代表幹事会で承認いただき産声をあげた「私の八軒時代」編纂委員会は、平成二十三年夏に開催予定の第五回総会に発刊すべく、同窓生の皆様のご寄稿をお待ちしております。昨年一年間に、恩師をはじめ会員の皆様より思い出を綴った文章を送っていたいただき、感謝申し上げます。今後さらに多くの方々の「八軒時代」に想いを馳せたエピソード等をお持ち

ちしております。

昭和十年の開校以来七十四年の年月は、二五、五一四人もの同窓生を輩出しています。今は未曾有の大変な不況の中ではありませんが、いつの時代にも、どの人生にも荒波はあつたかと思えます。古希・喜寿・傘寿を元気に迎えられた諸先輩、又は団塊の世代と言われる戦後生まれの還暦を迎えた方々、現役で子育て、勤めにと奮闘している方々、そして希望に向かって道探しに取り組んでいる若い学生の皆さん、どの年代の方も頑張っていると思います。

そのような時に、子どもの頃に共に遊んだ友、そして部活に明け暮れ、たまには友とのコミユニケーションに悩み、語り合い、読書をした頃の思い出に触れることで、新たな元気をもらい、明日からのエネルギーになるのではないのでしょうか。

あなたが八軒中学校で過ごした証を文章にしてみたいかがでしょうか。ご協力をよろしくお願いたします。

ご寄稿は次の要領で

- 一・内容 八軒中在学時の思い出(現役の八軒中生に伝えたいこと)
- 二・字数 本文千字程度(十八字×五十、五十六行)
- 三・締切 平成二十二年末まで随時受け付けます。
- 四・提出先等

手書きの場合(郵送)
〒九八四 〇八二七 仙台市若林区南小泉八軒小路九一
仙台市立八軒中学校
同窓会担当あて

郵送料はご負担ください。
テキスト又はワード(電子ファイル)若しくはメール
ベタ打ちの場合(メール)
「私の八軒時代」
Tachi Ken Josokai@cc.aunod.net.jp
写真がありましたら、お貸しく下さい。可能な限り電子ファイル化してご提供ください。

在校生の活躍ぶり

《運動部》

第五十八回仙台市中学校総合体育大会

育大会

陸上

男子 三年百M 第七位

女子 共通四種競技 第七位

(いずれも県大会出場)

新体操

女子 団体 第二位

(県大会出場)

柔道

男子 団体 第二位

個人 六十六kg級

第三位

女子 団体 第三位

個人 四十八kg級

第二位

五十七kg級

第三位

(いずれも県大会出場)

バレーボール

女子 若林区 第三位

ソフトテニス

女子

団体 第三位

個人 第三位

(県大会出場)

剣道

女子 団体 第二位

男子 個人 優勝

(いずれも県大会出場)

水泳

男子

四百Mメドレーリレー

千五百M自由形 第三位

百Mバタフライ 第五位

二百Mバタフライ 第六位

二百M背泳ぎ 第八位

四百M自由形 第八位

女子

総合第六位

四百Mメドレーリレー

二百M平泳ぎ 第四位

百M平泳ぎ 第三位

五十M自由形 第四位

四百Mリレー 第五位

二百M個人メドレー 第六位

二百M背泳ぎ 第七位

(いずれも県大会出場)

第五十八回宮城県総合体育大会

柔道

男子 団体 優勝

(東北大会及び全国大会出場)

個人 六十六kg級

第三位

(東北大会出場)

女子 個人 四十八kg級

第二位

(東北大会出場)

水泳

女子 五十M自由形 第六位

(東北大会出場)

二百M平泳ぎ 第八位

新体操

女子 団体 第五位

* 新人大会で剣道、陸上が県大会出場。

「全国という舞台で戦って」

たくさんの人たちのおかげで無事全国大会に行くことができました。しかし、全国のレベルはとても高く、一勝もできず予選敗退という結果に終わりました。でも、全国という舞台で戦えたことは、とても誇りに思っています。

今まで一緒に戦ってきた仲間と日々積み重ねてきた努力は決して無駄ではなかったと思います。これからも、もっと努力を積み重ねて、また大きな舞台で戦えるように柔道を続けていきたいと思えます。みなさん応援ありがとうございます。

(柔道部部員)

八月二十一日から三泊四日で全中沖縄大会に参加しました。宮城県の男子団体の代表として参加しましたが、他県の選手は身長も体重もあり、高校生チームと戦っているようでした。八軒チームは完敗でしたが、全国のレベルを肌で感じるすばらしい体験ができたと思います。

多くの方々に応援や激励をいただきました。ありがとうございました。

(柔道部顧問)



県大会の賞状と優勝カップ

《文化部》

吹奏楽

・第十三回全日本中学生、高校生打楽器ソロコンテスト

優秀賞

・全日本吹奏楽コンクール第五十二回宮城県大会予選仙台北太
白・宮城野・若林地区大会

金賞

(県大会出場)

・全日本吹奏楽コンクール第五十二回宮城県大会 金賞

・第十五回日本管楽合奏コンテスト全国大会 最優秀賞

合唱

・NHK全国学校音楽コンクール宮城県コンクール 金賞

(東北大会出場)

・NHK全国学校音楽コンクール東北ブロックコンクール 銀賞

「自分たちらしい演奏を」

私たち吹奏楽部は十月三十一日に東京で行われた日本管楽合奏コンテスト全国大会に出場してきました。

私たちは、今年度の大会では自分たちらしい演奏がなかなか

できず、とても悔しい涙を流した時もありました。しかし、この全国大会という素晴らしいチャンスをいただき、全国大会で悔いのない演奏ができるよう部員一同一生懸命練習に励みました。大会では練習の成果を十分に発揮することができ、最優秀賞という素晴らしい賞をいただくことができました。また、他の学校の素晴らしい演奏を聴くことができ、いい経験となりました。

私たち吹奏楽部がこのように素晴らしい経験をさせていたことができたのも応援してくださった先生方、生徒の皆さん、地域の方々のお陰だと思

います。

応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。

(吹奏楽部部員)



最優秀賞の賞状

《その他》

・少年の主張 若林大会

優良賞

・全日本学校書道連盟主催 第六十一回全国学生書道展 奨励賞

・第五十一回仙台市中学校英語暗唱大会 奨励賞

・仙台市中学校弁論大会 優良賞

・第五十六回仙台市児童生徒理科作品展

部会長賞、教育長賞、市長賞

・技術・家庭科生徒作品展 入選

・宮城県造形教育作品展 入選

《主な学校行事》

・三年修学旅行

東京・横浜方面

五月十四日、十六日

・二年野外活動 秋田・岩手

五月二十二日、二十四日

・一年校外学習 山形

五月二十二日

・陸上カーニバル

五月二十九日

・文化発表会 九月五日

・校内合唱祭(仙台市民会館)

十一月十八日

・同窓会入会式 三月五日

・第六十三回卒業式 三月六日

新しい仲間を迎えて

平成二十一年三月三日、平成二十年度(第六十二回)仙台市立八軒同窓会入会式が行われました。新入会者は男子九十五名、女子九十一名の計一八六名でした。

入会式では、菅井会長から新入会者である三年生に対して歓迎のメッセージが贈られ、先輩の講話として、第十三回生の齋藤久六さん(尚絅学院大学教授)がお話ししてくださいました。

齋藤さんは、「創造力」についてストローを使って笛を作りながらお話をされたので、生徒たちには楽しく、ためになる時間となったようです。

生徒たちからは、「(同窓会への入会によって)これからこの想い出のつまった八軒中に色々な形で関われるのだと思い、嬉しく感じました」、「齋藤さんの話術やパフォーマンスに感心させられました。」という感想が寄せられました。

同期が集えば(一)

第三回生(昭和二十五年卒)

小グループで集まって

三回生は卒業以来六十年を経過しましたが、今でも中学時代をなつかしみ、同期会やグループごとに旅行をしたり、会合を持って、交流を深めています。

第十九回同期会

日時 平成二十年

十一月六〜七日

会場 松島

センチュリーホテル

参加 四十五名

二十一年新年会

日時 平成二十一年

二月二十五

〜二十六日

会場 遠刈田温泉

さんさ亭

参加 二十七名

いわき方面旅行

日時 平成二十一年

七月十二〜十三日

宿泊 スパリゾート

ハワイアンズ

行程 百尺観音、塩屋崎

ほか



第十一中学校 25年卒 第19回同期会

参加 十名

鳴子方面旅行

日時 平成二十一年

十二月一〜二日

宿泊 鳴子観光ホテル

行程 古川農業試験場、

美里町、山神社、

松島一の坊

参加 十名

グループ旅行以外にも、エジプト・トリノ展や各種コンサート鑑賞等、小グループで会合に参加し、お茶席での話題は家族や孫の話、同期生の動向や健康管理の話に夢中になり、楽しい時を過ごしており、別れには元気な姿での再会を約束しております。

(高橋 公一)

第五回生(昭和二十七年卒)

三三同窓会

誕生のいきさつ

八軒中より仙台一高に進学した同期生によって昭和四十五年頃発足、当初の会員は十五名前後。一、二年に一回集まり、堅い話題と中学時代の恩師との交流、交歓会の色彩が濃かった由次いで男女の輪広がり、現在は三十余名。

名称ほか

当初は若人らしく「ナンバーワン」ということでした。会員

の一人に佐々木健二郎氏がおり、現在ニューヨークに定住。米国

仙台と年に一、二度の里帰りの都度「集合されたし」の連絡

により、久方に集ったのが平成十一年十一月十一日ということ

で、誰ということもなく「オールワン」という名称で親しまれております。

会の中心になってお世話をしているのが加藤紀元氏で連絡担当は五島栄一郎、一條綾子の両氏です。会と小生との接点は三人の子供達が母校の八軒中に入

学、六年間父母教師会のメンバーの一員となり、平成九年挙行の「新制五十周年記念行事」の際に千葉公夫、高橋誠、元、前会長とめぐり会い、同窓会再生の為に多くの方々と奔走、風の便りに心ある会員から母校とのパイプ役として招かれたのがキツカケでした。今後も再会を楽しみつつ年を重ねていきたいものです。

(早坂 一夫)

第十一回生(昭和三十三年卒)

心に残る旅

平成九年八軒中新制五十周年記念式典をきっかけに同年十一月に第一回同期会を開催、これが縁ではちのきファースト会がスタートし、十年一月一日の創



奥只見にて

刊号を初めとし、只今六十四号の会報を作成し、会員の親睦を図っております。平成十二年の志津川への旅行から始まり、年二回ほど行っております。この中で特に心に残った旅を書いてみました。

十三年の小学校修学旅行の思い出の地、湯野浜近くの由良温泉での日本海に沈む夕日は皆様にお見せしたいほど素晴らしいものでした。十五年には中学校の修学旅行先の横浜、江ノ島、鎌倉の旅。十八年は北海道・利尻、礼文と知床の四泊五日。同年十月には信州旅行で、白馬八方尾根トレッキング、松本城、善光寺参り等。十九年には佐渡・新潟への旅。二十一年二月は早春の房州への旅。同年五月三十一日から二泊三日で日光、新潟・塩沢町の熊が遊びに来ると言う山の宿・雲天に泊まり、食事は山菜が山盛り、酒は一升瓶でドンと出る。築何百年の古民家は心地良いものでした。翌日は奥只見湖遊覧、田子倉湖を見て、只見町の季(とき)の郷(さと)・湯ら里に泊まりました。

残雪の山並みとシンとした湖面に心洗われ、生き返る思いでした。

さて、今年はどこに行くのか楽しみですか。(齋藤紀江子)

第十四回生(昭和三十六年卒)

三年五組クラス会

平成十七年十一月の同期会、十九年十一月の日光修学旅行再現以後は全体の集まりは途切れていますが、クラス会や少人数での飲み会、関東地区での同期会など集会を楽しんでいる状況です。

そんな中、昨年八月十七日に三年五組のクラス会を担任・小



八軒中3年5組クラス会終了後撮影
平成21年8月15日JALシティ仙台

川先生(いつも元気)の出席の下十七名で行いました。埼玉から参加してくれた人もおり、久しぶりの再会に昔話に花が咲いたと思ったら、孫の話や健康講話など、中学生に戻ったり、現実に戻ったりと二次会まであっという間の楽しいひと時を過ごしました。

何をおいても健康第一に納得し、最後は名残を惜しみつつ、元気で再会を約束し会場を後にしました。(目下 正次)

第二十九回生(昭和五十一年卒)

五十代を前に四年ぶりの開催

平成二十一年八月一六日に仙台ガーデンパレスで同期生三十九名、恩師四名(丸山千代子先生、砂金信男先生、菅原美保先生、千葉 旧姓・阿部 純子先生)の参加を得て、同期会を開催しました。

子育てと働き盛りの真っ最中、そして不況の影響か、ちょっとさびしい人数でしたが、欠席した二十三名からはカンパが寄せられており、次回は参加者が増えるものと期待しています。



4年後の再会を楽しみに

渡辺貢校長と山形昭英学年主任も参加予定でしたが、当日、都合が悪くなり欠席されたのも残念でした。用意した花束を翌日、自宅にお届けし喜んでいただきました。

次回は四年後、五十三歳です。(福島 一恵)

同期が集えば(一)

第三十六回生(昭和五十八年卒)
実行委員のきずな深まる

「何かサプライズを考えないと二年連続の同期会は動員に苦慮するぞ。おとしの八月、四半世紀ぶりに顔を揃えた同期会が大成功に終わり、「来年も頼むよ」とリクエストを受けたのはよいけれど、さて困った。「どんな企画を準備しようか?」と不惑の男女がマツクに集まり、夜な夜な作戦会議が続いた。

最初の同期会は「何とかなるさ」という勢いのようなものがあつたのに、二回目となるとそうもいかない。実行委員の十二名はいろいろなアイデアを出し合った。「元ハウンドドックの大友康平さんと呼ばないか」、「船を貸し切つて船上パーティーもいいんじゃない」など、話だけは大きく膨らむのだけれど結局やるのは実行委員。打ち合わせでは意気消沈する場面も少なくなかった。

結局、チーム対抗のゲームを企画し少ない予算の中から景品



平成 21年 8月 15日に開催された第 36 回生の同期会

などを用意することに。ちよつとエツちな景品がウケて、これもまた大成功となった。

参加者は三割減だったけれど、実行委員のきずなが深まった二回目の同期会だった。三年後の第三回同期会を目指して、実行委員の定例会議と称した飲み会は続いている。(小関 勝也)

掲載に当たつて、執筆者の敬称は略させていただきます。ご了承ください。

若い世代も集まっています

平成二十一年一月十二日の成人の日、第五十七回生(平成十六年卒)が成人式を迎えました。藤村夏美さんによると、この夕

イミングを利用して同期会を開催したところ、学年の半分以上が参加し、一番町のバー・イズントイットで昔話に華を咲かせたそうです。

また、同窓会へ入会してまもない第六十二回生も、平成二十一年八月十二日に早速集まりました。丹野優さんから、「参加者は男女合わせて二十五人。焼き肉・ひがしやまで食事をしたから会話を楽しみました」という報告をいただきました。

記念誌無料配付

平成九年に発刊した八軒新制五十周年・創立六十二年記念誌「八軒」は、昭和十年の創立当初からの学校の歴史をたどるだけでなく、PTAのあゆみや地域の変遷までも含めた形でまとめられています。

発刊当時二千円で販売したのですが、時間も経過したことから御希望の方には無料で配付しますので、事務局までお申し出ください。

編集後記

二十一年度も同級会や同期会が数多く開催されました。前号に続き、今号でも三頁にわたつて、その様子をお伝えしています。今後とも、同窓生の皆様からの情報提供、ご寄稿をよろしくお願いいたします。

八軒中学校のホームページはごらんいただけましたでしょうか。同窓会のページには、「私の八軒時代」の寄稿のお願いや「八軒つうしん」のバックナンバーが掲載されています。

http://www.sendai-c.ed.jp/~hachi ken/

八軒つうしん第五号
発行日

平成二十二年(二〇一〇)年
三月五日発行

発行者 八軒中同窓会事務局
〒九八四 〇八二七

仙台市若林区南小泉八軒
小路九 一

仙台市立八軒中学校気付